



# 第19回企画展テーマ展示 『坂の上の雲』にみる

# 明治のインテリジェンス



大用総身に  
知恵がまわりかね  
なにと申し



2026年2月24日|火|~2027年1月3日|日|

休館日：原則月曜日（詳細はHPでご確認ください） 開館時間：9:00~18:30（入館は18:00まで）  
観覧料：一般¥500（¥400） 高校生¥250（¥120） 高齢者（65歳以上）¥250（¥200）  
※中学生以下は無料 ※（ ）内は20名以上の団体割引料金  
〒790-0001 愛媛県松山市一番町三丁目20番地 TEL089-915-2600  
<https://www.sakanouenokumomuseum.jp/>

坂の上の雲ミュージアム  
SAKA NO UE NO KUMO MUSEUM

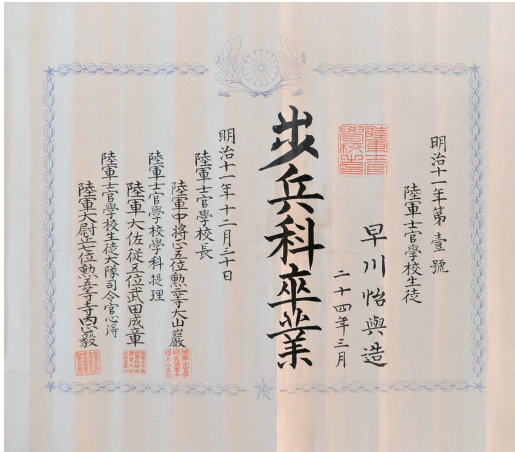
『坂の上の雲』にみる

# 明治の インテリジェンス

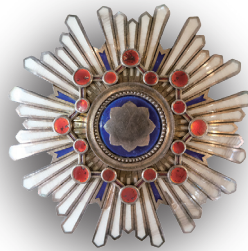
世界の強国が覇権を争った19世紀、この帝国主義の時代に日本は近代国家の仲間入りを目指しました。

1894(明治27)年の日清戦争、その後の三国干渉をへて、東アジアでは国々の思惑が交錯し、日本とロシアを中心に情勢は次第に緊迫していきます。日本政府は、政治・外交・軍事、それぞれの局面であらゆる事態を想定しながら、さまざまな人材が持てる力を尽くして、この未曾有の難局を乗り切ろうとしました。

今回の企画展では、明治日本が経験した明治20年代後半から30年代の激動期に焦点をあて、『坂の上の雲』の主人公や登場人物らが発揮した、明治人の知恵や力量を描き出します。



田村(早川) 怡興造陸軍士官学校卒業証書(田村家資料館所蔵)



林董旧蔵「勲一等瑞宝章(副章)」  
(大磯町郷土資料館所蔵)



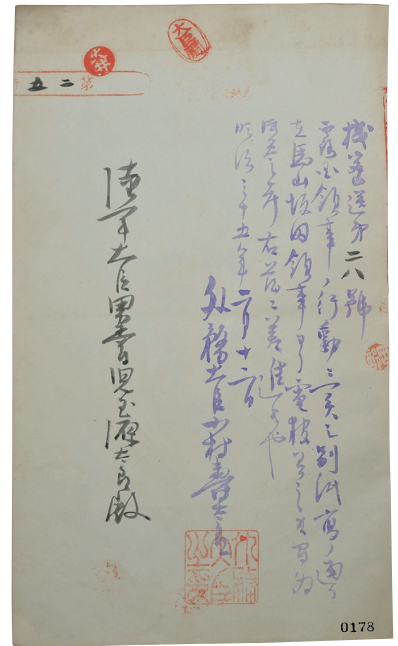
西郷従道旧蔵「海軍大将肩章」  
(記念館「三笠」所蔵)



加藤拓川あて明石元二郎書簡(個人蔵)



山県有朋写真



児玉源太郎あて小村寿太郎通知  
(「明治35年自1月至6月 密受受領編冊」より)  
(防衛研究所戦史研究センター所蔵)



山本権兵衛旧蔵「個人用短剣刀装」  
(海上自衛隊第1術科学校教育参考館所蔵)

挿絵/原画: 下高原健二(石川武美記念図書館所蔵)  
表面: 「滑稽欧亜外交地図」

※会期中、資料の展示替えをおこないます

## 坂の上の雲ミュージアム

SAKA NO UENO KUMO MUSEUM

〒790-0001 愛媛県松山市一番町三丁目20番地 TEL 089-915-2600 FAX 089-915-3600  
E-mail: saka-museum@city.matsuyama.ehime.jp URL: <https://www.sakanouenokumomuseum.jp/>

アクセス

- ・JR松山駅から [所要時間約10分] 市内電車(道後温泉行)——大街道下車——徒歩2分
- ・道後温泉から [所要時間約10分] 市内電車(全線)——大街道下車——徒歩2分
- ・松山空港から [所要時間約30分] リムジンバス(道後温泉行)——大街道下車——徒歩2分
- ・松山自動車道松山インターから [所要時間約20分]

